

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 1月 31日

事業所名 ココスマイル

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	0	運動室は広めになっているが物を置くことを避け、広さを損なわないようにしている。	静のスペースは多少密になりやすいが、声掛けをして児童の分散をしている。
	2	職員の配置数は適切である	2	1	0	シフトを組む上で、利用人数に合わせ職員数を調整している。外出日等はきちんと職員数を確保している。	時折足りないと感じる事はあるが基本は静かな部屋、運動部屋等、目が行き届く人数ではあると思われる。日によってバラつきがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	0	3		バリアフリーが必要な児童の受け入れを行っていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	1	2	0	研修時や研修マニュアルにお記載している。	研修時(教室での)に取り入れ、研修マニュアルにも記載し職員の意識向上を計っているが定着までには至っておらず課題としている。これからも継続的に機会を作っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	1	0	今回のアンケートもきちんと保護者様へお願いしている。	結果を受け止め、さらなる業務改善に繋げていく。開所し初めてのアンケートなので今後繋げていく。返ってきた際には反省点として改善に努める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	0	2	今回が初めての自己評価となるがホームページで公開予定。	令和4年2月1日にホームページで公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	0		保護者様アンケートでいただいた意見や評価を見て、改善点を見つけ活かしていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	1	1	連絡帳等の業務内容についての研修を受ける時間を設けてもらい取り組んでいる。教室での職員研修は月1回以上行っている。	教室での研修は行っているが、他の研修会へは行っていない。今後は、コロナ情勢等も考えた上で参加できるような機会を作っていく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	1	0	支援会議や保護者様、学校との連絡を密に行い反映している。送迎時に家族や学校から得た情報をミーティング等で共有し、計画に繋がられている。	保護者様の意見はとても大事にしており、教室とご家庭での様子をしっかりと話し、判断した上で作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1	0	見学時に見字シートを用意し、保護者様から利用児についての事柄を出来るだけ多く伺った上で契約後にアセスメントシートの記入をお願いしており、把握漏れがないよう工夫している。	アセスメント項目もオリジナルの物を用意し、情報を得やすくしている。空いた時間を見つけて各児童のアセスメントを読み把握に努め、支援に繋げている。

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	1	0	活動については、職員ミーティングで話し合いを行い決定している。また担当職員を決め、活動時のリーダーとして配置し職員連携を取りやすくする等工夫している。	ミーティングにて各スタッフにプログラムの割り振りを行うが、他職員とも意見の交換を行い確立させている。チームを作成しているわけではないが職員全員がチームとして動けるようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している				週に1度の動りの日は固定化して行っているが場所や時間を子供たちの意見を取り入れ変更する等し、工夫している。また、毎月子供達からのリクエストを聞き、職員会議にて活動内容を決めている。	季節や月に合わせたイベントを行うが、児童にどんな事をしたいか意見を聞き、取り入れながら組み立てをしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	0	0	子どもたち一人ひとりに合わせた課題を職員全員で考え、実行している。	長期休暇等の利用時間が長い時は支援できる時間が長いため、平日に時間が足らずに出来ない事を優先して行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	0		子どもの状況には特に気を使い、必要があれば直ぐに見直しを行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	0	参加が難しい際には、ミーティング用のノートを読み、認知するようにしている。職員ミーティングを開き、確認を行っている。当日に時間が取れない場合は前日に行う等している。	ほぼ毎日送迎前にミーティングに参加し、最近の児童の状況の確認を行う。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1	0	次の日のミーティングにて行うことが多いが、その日の送迎後に情報共有や振り返り等をしている。	職員ミーティングで行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	0	連絡帳やミーティングノートを使い出来るだけ詳しく記録を残せるようにしている。	記録を取る際、他職員に状況を聞き取り誤りがないよう心掛けて書き込みを行い、気になる点があればミーティングにて検討する。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	1	0	見直しについては、職員全員できちんと話し合いを行い判断するようにしている。	出来る限り行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	2	1	0	子どもたちの状況に合わせ、慢性化しないよう取り入れている。	未だ把握が完全ではないため、読み返しを行い、支援に組み込めるようにしていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	0	児発管が必ず出席するが、状況に応じて他職員も参加できるようにしている。	児発管が必ず出席するようにしている。
	21	子校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	2	1	0	こちらから様々なアプローチを行い、連絡調整している。送迎時はこちらからアプローチしている。	現時点ではまず学校や保護者との信頼関係を築いていく段階ではあるが、徐々に情報共有の内容を密に行えるよう努める。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	0		現在必要な児童はいないが、利用が発生する場合には行う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	2	1		保護者様の理解が得られた場合のみ行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	3	0		保護者様の理解が得られれば行う。今の所、そういった児童がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	2	1		ココスマイルでの実績経験をしっかりと積んだ後、現場に必要な研修を受けていきたいと思う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	1	2		今後増やしていきたい。子どもの状況に合わせ、今後の活動に組み込んでいくか、検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	0	3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2	1	0		伝えず(言葉)が勉強不足だと感じる。上手に説明をする事が難しく、不出来ながらも保護者様に分かりやすいように伝えられる事を目標とし、とても力を入れて取り組んでいる。極力伝えるように意識している。又、状況の把握もミーティングや実績等で確認をしているがさらに強化して行っていく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	1	2		お家でのことに対し、助言や相談は行ってるが、トレーニングと言えるかは分からない。まだかわかりが浅いと感じており今の状況では至ることは難しいと思っている。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	1	0	契約時にきちんと説明している。分からないことがあればいつでもご連絡をいただけるように伝えている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	1	0	状況に合わせ職員全員で問題と向き合い助言し、支援内容の変更も随時行っている。	仮に相談を受けた際には、教室に持ち帰り他職員と共有した後、保護者様の様子を見て返答し支援へ繋げていきたいと思う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	1		今後行っていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	1	0	態勢は整えており、職員に対し研修なども行っている。	苦情が発生した際には、管理者に伝えた後自身の振り返りも行い、未然に防げるようにしていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	0	毎月、必ず行っている。	自身が行事・活動の説明が甘いのではと感じる部分があるため、反省点として今後はきちんと伝えていきたいと思う。
	35	個人情報に十分注意している	3	0	0		保護者様の了解を必ず得ている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2	1	0	分かりやすくを第一にしている。	配慮はしているがうまく伝えられているか不安もあるため、振り返りながら模索していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1	2		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	2	0		今後各マニュアルを確認していき把握に努める。保護者様へ周知できていないので今後の課題としていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	0	職員へは、研修に取り組んでいる。	少なくとも6か月に一度は行っている。地震や火災、災害訓練を行っており今後も定期的に取り組んでいく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	2	0		特に力を入れて、研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	3	0		他書のある児童については事前に保護者様へはお伝えしているが、支援計画書には記していない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	3	0		今の所はない。保護者様の意見に従う。食物アレルギーを持つ児童を受け入れる際には、対応を心がけていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0	3	0		作成はしていないが研修で伝えている。